

連日天気予報を気にしていますが、なかなか梅雨が明けず、この焼津界隈では「よく降るね」で済みますが九州地方では豪雨によつて自宅が完全に水没し、屋根に避難して救助を待つ人々の姿や橋が流される映像を数多く目にしました。気象庁が「令和2年7月豪雨」などと命名しましたが、ニュースの映像を見ると、その状況はさながら津波の様でした。

この原稿を書いている時点では、未だ梅雨が明けず快晴の空が恋しくなる今日この頃です。「梅雨の中休み」といった感じで晴れた日もありましたが、夏日と呼ぶに相応しい程の猛暑で極端な気候の変動に辟易してしまいます。そんな日には熱中症による救急搬送が増えますから、普段以上に体温管理に気を付けなくては・・・と思います。

23日からの4連休になつても天気予報は傘マークばかりで気持ちよく外出とはいかない様です。どのみち県外移動は控えた方が無難ですから、筆者も特に予定を立てている訳ではありませんが・・・。また、災害と言えば風水害だけではなく、今月初旬に吉田町で発生した日用品製

7月団地の言葉 「健康職場 つくる まもるは みんなが主役」



2020
7月号

NO. 462

(協) 焼津水産加工センター 発行
焼津市惣右工門1280番地の2
編集・総務係
発行・令和2年7月27日
TEL・054-624-2111
FAX・054-623-3834
HP・<http://www.yaizufpc.or.jp/>

造会社の倉庫兼工場の大規模火災も大きな話題になりました。

休日の工場で真夜中に発生した火災は鎮火までに30時間を要し、ニュースの映像では激しい炎や黒煙が見られ、火災の恐ろしさを目の当たりにしました。ちなみに筆者は翌日の午前中に旧大井川町にいましたが、黒煙が立ち上るところがハッキリ見えました。

この火災で殉職された警察官と消防士合わせて4名のご冥福を祈ります。

火災の原因は現在も調査中ですが、この加工団地内も火気を扱つている工場が多いので改めて可燃物の管理には注意をすべきだと感じました。

今月の団地の言葉はカネマサさんの作品です。

今月の紙面

P2 7月の定例役員会／特定3名引っ越し
48期生2年目移行試験を実施

P3 外部監査役員の動向監査／特定技能1号
女子2名の採用／マリンセンター優良運

転事業所銅賞受章

P4 カツオ情報

7・8月組合行事予定

7月22日（水）
定例工場長会議

8月の暦
8月10日（月）
山の日

8月17日（月）
定例役員会

◆7月の定例役員会◆

去る7月13日に、7月度定例役員会が開催されました。

1 事務所リニューアル計画の変更について

7月6日に開催された事務所リニューアル委員会の審議内容の報告として、現在進めている計画の建設用地への事務所建設が法的に困難であると行政当局から説明があり、時間やかかる手間などを鑑みて別用地への建設とし、コストを鑑みて現事務所前駐車場への建設を提案。元建設用地について今後の組合事業等を良く思案し検討すべしとしたことを報告した。これに対し

て、コストや手間など詳細に調査した上で比較により用地選定すべきであるとし、委員会にて再検討を踏まえた継続審議となつた。

2 諮問委員会編成、外部団体担当について

組合理事会の諮問委員会（全7委員会）について、その編成について前年同様とした。また、外部団体への出席についても、前年同様に担当するとした。

3 役員報酬の決定方法について

先月開催された組合通常総会にて承認された組合役員報酬について、その個別配額について理事及び監事の総意により決定し、承認された。

4 連絡・報告事項

「化成求人1名採用内定について」 「高

校新卒求人の提出について」ほか4項目、計5項目について了承された。

◆特定3名引っ越し◆

特定技能1号生の3名は、6月16日付で市内の民間アパートへ引っ越しを済ませました。これをもって、今回の特定技能1号生の5名は計画通り完全に引っ越しを完了し、普通の労働者としての働きができるようになります。

最後に引っ越しした3人は今まで入居したマリンコーポを非常に綺麗に掃除して、ピカピカの状態を保ったまま、出ておりました。優秀なモデルとして、その部屋の状態を写真に収め、後輩は先輩に負けないようとに全員を励ました。

特定技能1号生のこの5人はそれぞれ所属の会社に好評を得て、（協）焼津水産加工センターの優秀な卒業生として焼津の水産業界に貢献をし始めています。また、本人の成長及び焼津水産業界の発展に大きく期待しております。

◆48期生2年目 移行試験を実施◆

試験の結果発表は7月末ぐらいで、全員が合格するだろうと自己評価をしています。合格者全員は技能実習の2年目へ移行で、通算3年間日本で実習活動ができます。

実習生の大半は団地中で積極的に実習活動に取り組み、受け入れ企業は大きな期待を寄せております。後2年間の実習で更なる成長を楽しんでおりま



なりました。一緒に入国した18名の内、1名は来日後もなく失踪しました。もう1名は怪我で受験がさらに延長しました。残り16名は節類製造が2名、調味加工品製造が4名で

緒に入国した1名は来日後もなく失踪しました。もう1名は怪我で受験がさらに延長しました。残り16名は節類製造が2名、調味加工品製造が4名で

◆外部監査役員の同行監査の実施◆

どうかは依然予測できないうままで、様子見を続いている状況です。

去る6月23日（火）に、監理団体の外部監査役員が組合内部の監査を同行監査実施しました。今回の同行監査対象は（株）仲吉、（株）木村商店、（株）カネマサの3社です。同3社の実習生監理簿、タイムカード、賃金台帳、実習日誌等をチェックした上で実習生の面談も行い、会社及び実習生両方のご要望と期待を確認致しました。特に問題はなく、順調に実習が進んでおります。

この3社以外の受入れ企業には、7月14日（火）に管理団体による3か月の内部監査を実施致しました。同じ帳簿類などのチェックをし、実習生の面談も実施致しました。特に指摘する事項がなく、全般的には計画どおり進んでおります。

また、新型コロナウイルスの影響で帰国不能な2名は、1名が特定活動のビザが更新して従来通り実習の延長をし、もう1名は技能実習3号のビザ変更申請で元の企業にて実習活動に従事しております。

9月19日に3年間の実習を終了予定している11名の内2名が市内の食料品製造会社に特定技能1号へ行くことが内定しており、2名は友人の紹介で特定技能1号として北海道へ、5名はそのまま技能実習3号へ、2名は完全帰国予定です。帰国組は9月16日のチケットを予約しましたが、新型コロナウイルスの影響で帰国できるか

◆特定技能1号女子2名の採用◆

人材が育つように一貫して努力してまいります。

◆マリンセンターア 優良運転事業所 銅賞受章◆

自動車安全運転センターと静岡県警察にて、「運転記録証明書」を活用して交通事故防止に成果をあげて交

り、現行の法律に乗り、これから5年間で働くことができます。

組合としては本人の希望が叶うように協力しますが、3年間、真面目に仕事に取り込み、協調性があり、明るい人しか特定技能1号を支援しておりません。今の5人はすぐさま就職した会社から好評を得ており、間もなく欠けない人材になると思います。

このような風に乗り、今月は女子2名の特定技能1号の支援をし、採用面接も行い、内定されました。雇入れ時の健康診断を実施し、在留資格変更の申請段階に入りました。順調に行けば今年の9月ごろ就職できると予測致します。

組合の実習生受入れ基盤をしっかりとため、組合員の会社の発展に力を尽くすと同時に、微力でも焼津市の食料品製造会社の発展になれば、嬉しいことです。後とも優秀な



この度、株式会社焼津マリンセンターが銅賞を受賞いたしました。昨年は金賞を受賞しており、2年連続受賞という栄誉をいただきました。

7月8日（水）午前に焼津警察署にて贈呈式が開催され、焼津マリンセンターからは小泉営業本部長が出席し表彰を受けました。これからも、組合・マリンセンターともに安全運転に努めていきます。

§ 2020年(1～5月計)の輸出入

※輸出はF O B 価額、輸入はC I F 価額

<輸出>		2020年		※財務省貿易統計データより 2019年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タフイリピン		3,460	519,068	7,014	1,041,427
		·694	159,800	511	101,645
計		4,224	692,329	7,638	686,862



カツオ

〈輸入〉

2020年		2019年	
数量 t	価額(千円)	数量 t	価額(千円)
15,627	2,267,406	9,874	1,651,963
1,280	185,891	49	7,767
1,042	143,880	381	55,713
20,077	2,881,869	11,121	1,842,086

F O B (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

C I F (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

§ 国内主要漁港市場の水揚 (2020年1~5月計)

※水産庁統計データ
産地水產物流通統計より

	2020年		2019年		前年比%	
	数量 t	単価 円	数量 t	単価 円	数量	単価
<生カツオ>	3,626	594 円	9,524	378 円	38%	157%
<冷カツオ>	49,624	202 円	83,501	178 円	59%	113%
<カツオ合計>	53,250	229 円	93,025	198 円	57%	116%

§ 焼津水揚 (2020年1~6月累計)

※焼津漁業協同組合統計データ
取扱高対比表より

	2020年		2019年		前年比%	
	数量 t	単価 円	数量 t	単価 円	数量	単価
<1本釣カツオ>	5,340	308 円	12,455	223 円	43%	138%
<巻網カツオ>	29,943	164 円	42,237	150 円	71%	109%
<カツオ合計>	35,283	186 円	54,692	167 円	65%	111%

百味窓

(不定期で色々な物事について紹介するコーナーです)

チャイティーヨー・パゴダ (Kyaiktiyo Pagoda) またはゴールデン・ロック (Golden Rock) あるいはチャイティーヨー・パヤー (ကျိုက်ထီးရှို့သူရုံး) は、ミャンマーのモン州にある仏塔 (パゴダ) で、仏教徒の巡礼地として良く知られています。

巡礼者の寄付によって貼り付けられた金箔に覆われた花崗岩の巨礫の頂上に、高さ7.3mの小さなパゴダが乗っています。チャイティーヨーの山頂にこの岩とパゴダがあります。ミャンマーでは、ヤンゴンのシェダゴン・パゴダ、マンダレーのマハムニダ・パゴダに次ぎ3番目に重要な巡礼地でもあります。信仰上の理由から女性はゴールデン・ロックに触れるではなく近づくことさえ許されず、男性のみが触れることができるそうです。

ミャンマーの最大都市ヤンゴンからこのチャイティーヨーへは、バスか鉄道の大きく2通りの行き方があります。バスだとヤンゴン市からは片道でおよそ4~4時間半かかるそうです。

以前はチャイティーヨー山の頂上まで行くのに徒歩あるいは大型トラックに乗っていきました。一昨々年からロープウェイもできた為便利になりました。日帰りツアーや、ミヤンマーのチャイティーヨー・パゴダへぜひ行ってみてください。

